
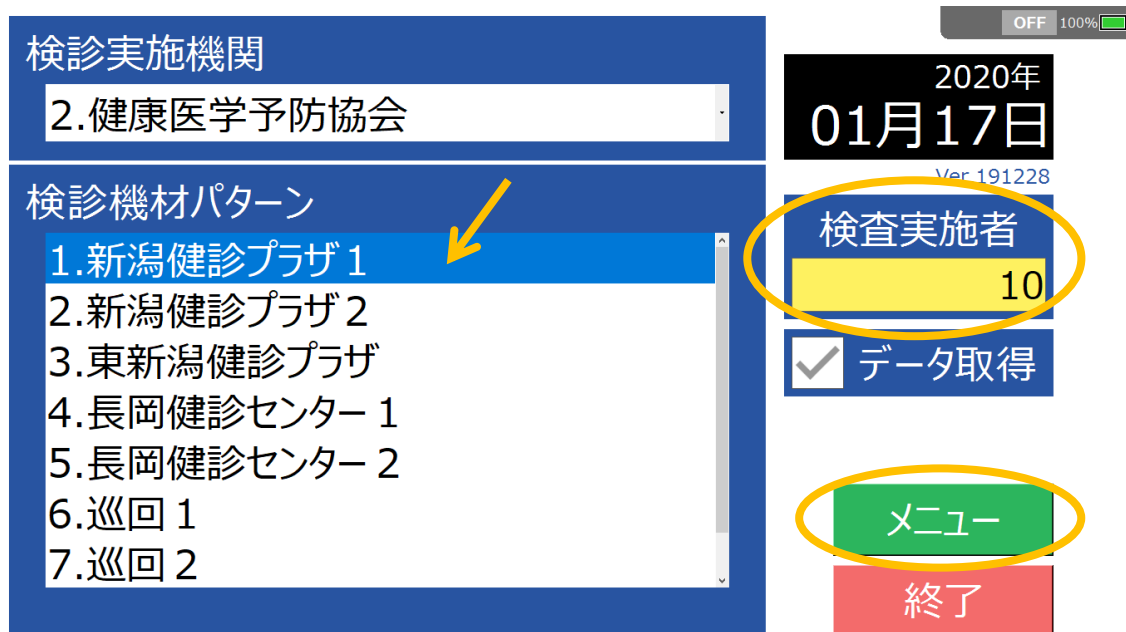
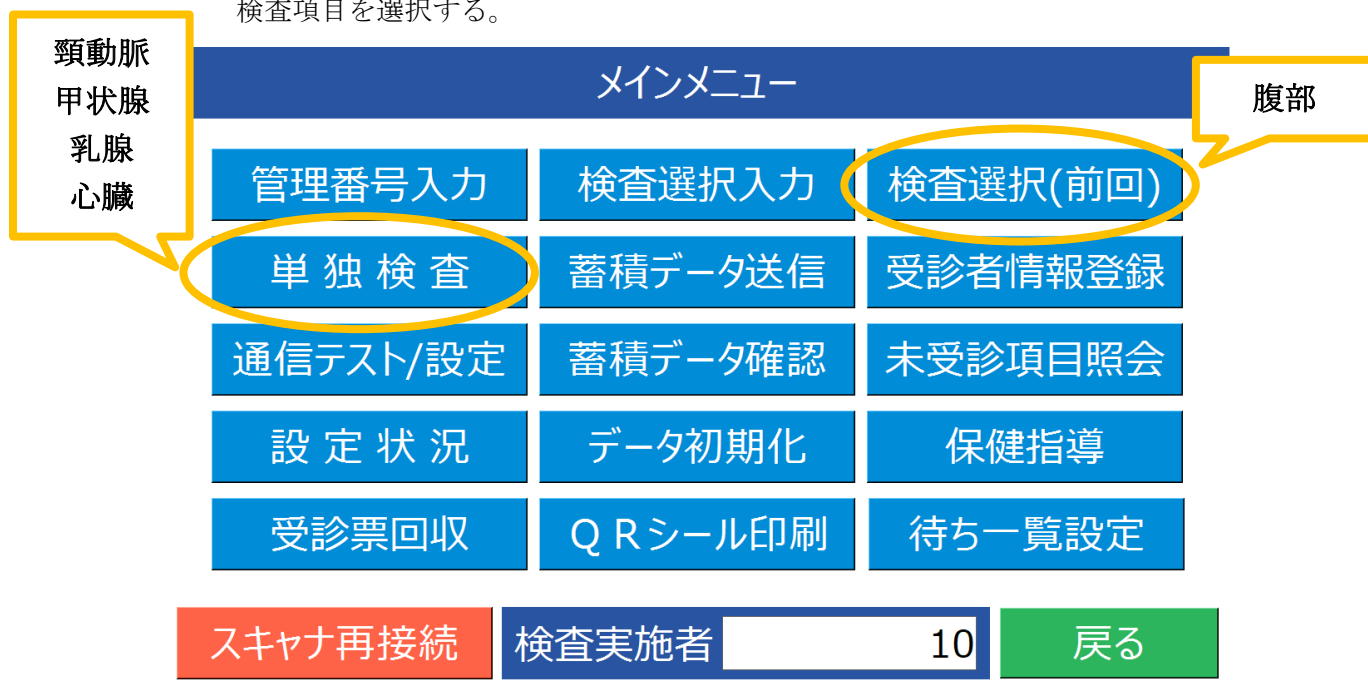


- (1) デスクトップの「KenshinNKKvs」  のアイコンを開く。
- (2) この画面が開くので、検診機材パターンは【新潟健診プラザ1】を選択し、検査実施者は各自 ID を入力し、**メニュー**をクリックする。



- (3) メインメニュー画面の【検査選択 (前回)】をクリックする。
腹部以外の頸動脈、甲状腺、乳腺、心臓を検査する場合は【単独検査】をクリックし検査項目を選択する。



(4) 検査項目が腹部超音波検査の設定になっていることを確認し、**確定**をクリックする。

検査項目を確認

腹部超音波

確定

キャンセル

(5) 開始 No と終了 No、次回取得 No の設定はそのまま**確定**をクリックする。

腹部超音波

開始No:	13041
終了No:	13060
次回取得No:	13041
No.シール発行:	0.無

この部分は触らないで OK です

7	8	9	CL
4	5	6	BS
1	2	3	-
0	.	◀	▶
前項目		次項目	

確定

キャンセル

(6) この画面の状態を受診者の検査チェックリストのQRコードを読み込む。

データ読取

腹部超音波

QRコードを読み取って下さい...

未受診項目

(7) QRコードを読むとチェックシート左上と同一番号が採番される*のでそのまま登録をクリックする。

再度「登録しますか？」 → 登録を選択（自動でラベル印刷）

ラベルを「再印刷しますか？」 → いいえを選択

その後「検査機器へデータを送信しますか？」 → はいで受診者属性を送信する。

エコー装置で属性を取得する。

「再送信しますか？」 → いいえを選択する。

→ (13)が立ち上がります（数秒待つ）

*青色ファイルの1泊ドックの方は、1日目と2日目でドック番号が異なり2日目に検査を行うエコーの場合QRを読み込んで採番される番号ではなく、チェックシートに手書きされている番号(19401~)を手入力し、属性を登録、転送する。

腹部超音波

MWM テスト二 女 0600002096
 MWM テスト二 40歳

×	肝臓	脾臓	腎臓
モ	胆嚢	脾臓	

開始No. 13041 - 終了No. 13060

腹部超音波No. 13041

一泊ドックは自動採番される番号では属性が転送されないのてチェックシートの番号を手入力する

7	8	9	CL
4	5	6	BS
1	2	3	-
0	.	◀	▶
前項目		次項目	
連携		登録	
前に戻る		中止	

(13)に進んでください！



(8)デスクトップの『STELLAROrder』のアプリケーションを開く。

(9)ログイン画面が開くので、ユーザーIDに職員番号8桁を入力する。

パスワードは未入力のまま、**開始**をクリックする。



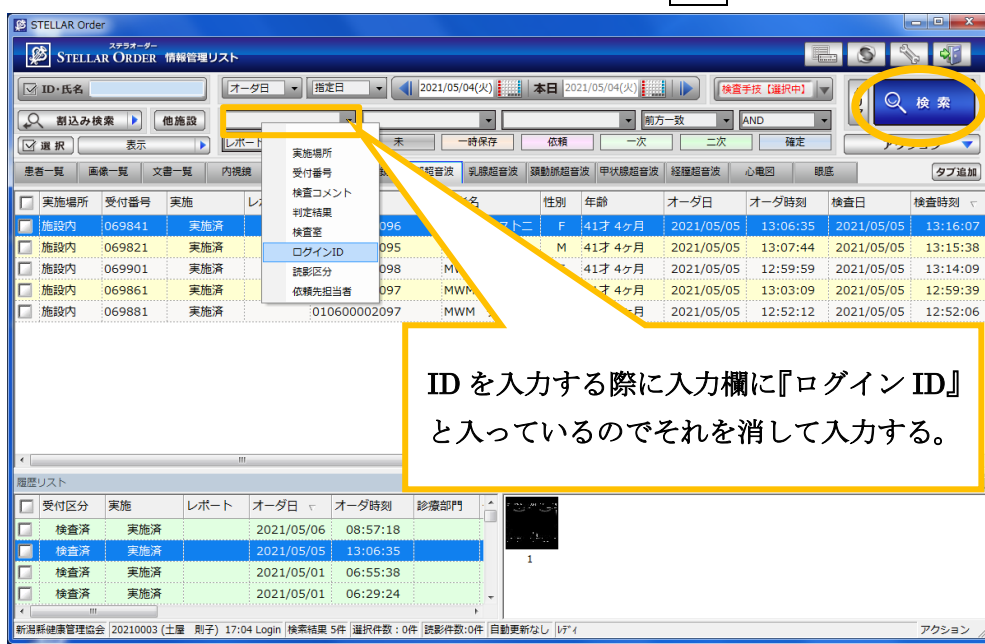
(10)ログインしたら下の画面が表示される。

モダリティごとにタブがあるので該当検査を選択すると、受診者の一覧が表示される。アストロステージは検査時に受診者 QR コードを呼んでも、自動でレポートが立ち上がらないので、JIM-COM の裏で常に開いておき、受診者を登録するたびに**検索**ボタンで更新し、自分で受診者のレポートを開くようにする。

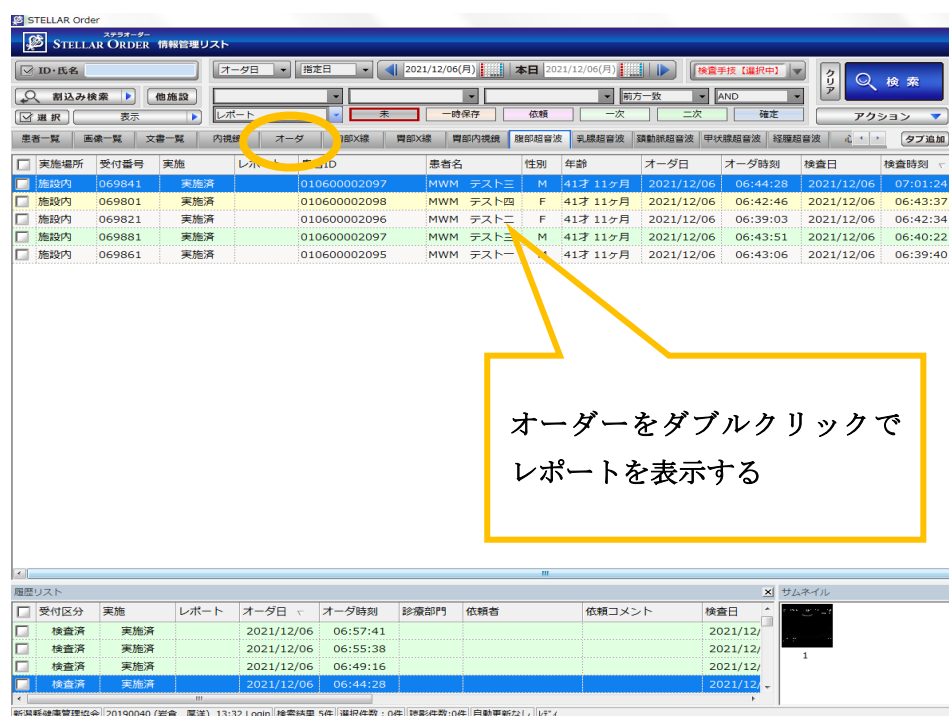
実施場所	受付番号	実施	レポート	患者ID	患者名	性別	年齢	オーダー日	オーダー時刻	検査日	検査時刻
施設内	069841	実施済		010600002097	MWM テスト三	M	41才 11ヶ月	2021/12/06	06:44:28	2021/12/06	07:01:24
施設内	069801	実施済		010600002098	MWM テスト四	F	41才 11ヶ月	2021/12/06	06:42:46	2021/12/06	06:43:37
施設内	069821	実施済		010600002096	MWM テスト二	F	41才 11ヶ月	2021/12/06	06:39:03	2021/12/06	06:42:34
施設内	069881	実施済		010600002097	MWM テスト三	M	41才 11ヶ月	2021/12/06	06:43:51	2021/12/06	06:40:22
施設内	069861	実施済		010600002095	MWM テスト	M	41才 11ヶ月	2021/12/06	06:43:06	2021/12/06	06:39:40

受付区分	実施	レポート	オーダー日	オーダー時刻	診療部門	依頼者	依頼コメント	検査日
検査済	実施済		2021/12/06	06:57:41				2021/12/
検査済	実施済		2021/12/06	06:55:38				2021/12/
検査済	実施済		2021/12/06	06:49:16				2021/12/
検査済	実施済		2021/12/06	06:44:28				2021/12/

(11)検査者ごとに表示する場合は赤枠内で右クリックすると、複数選択タブが出てくるのでログイン ID を選択し、そこに自分の ID を入力し、**検索**で表示される。



(12)複数のモダリティを同時に表示したい場合(腹部、乳腺、頸動脈、甲状腺など)はオーダーのタブを開き、ログイン ID で検索すると、モダリティに関係なく自分が検査した受診者がすべて表示される。(基本的にはこの表示方法で検査した方がいいと思います。タブを変更するたびにログイン ID で検索した条件がリセットされてしまうため。)



過去画像と所見の確認！

(7) の操作で自動で立ちあがる画面

(13)受診者の前回画像を閲覧する際は、画面下の **STELLAR** をクリックする

①～④の順にページを開いてく。

所見記載画面です！

(1) 過去画像と所見を見るため 1番に押す

(2) 超音波のタブを開くと超音波検査画像のみが表示

見たい日付のサムネイルをクリックして全画像を表示する

右上のマークをクリックすると画像を閉じる。左上のところからも前回画像や他のモダリティの画像が確認出来ます。

③

④

①

②

前回所見の記載
検査者の名前
今回伝えたい事
の順で記入
を
忘れずに！

前回画像と所見を確認したら受診者を呼び込む

(14)受診者を選択してレポートを表示する。

レポート開くとペンのアイコンとナスカの地上絵のアイコンが表示される。

ペンのアイコン→レポート入力画面

ナスカの地上絵のアイコン→検査画像画面

レポート画面で所見入力を行う。

検査コメント欄に前回所見や既往歴・現病歴など受診者から聴取した内容を入力する。

所見は左下のタブの中から『部位』『所見』『大きさ』の項目を順番に選択し、入力する

部位や大きさを訂正する場合は該当の項目を選択し直すだけでそれ以外は選択し直す

必要はない

【例：右腎 腎嚢胞 6～10mm → 左腎 腎嚢胞 6～10mmに変更する場合】

『部位』の右腎を左腎に選択し直すだけで、それ以降の項目の変更は不要

所見欄にない所見を付ける場合は所見フリー欄に入力する。

所見が無い場合は異常なしをクリックし、一次で確定する

今回画像の確認ボタン

(15)ナスカを開き、貼り付ける画を表示した状態で画面上の『レポート貼付』で貼り付ける。

キーボードのAでも貼り付けをすることが可能。画像選択を押し、貼り付ける画像を

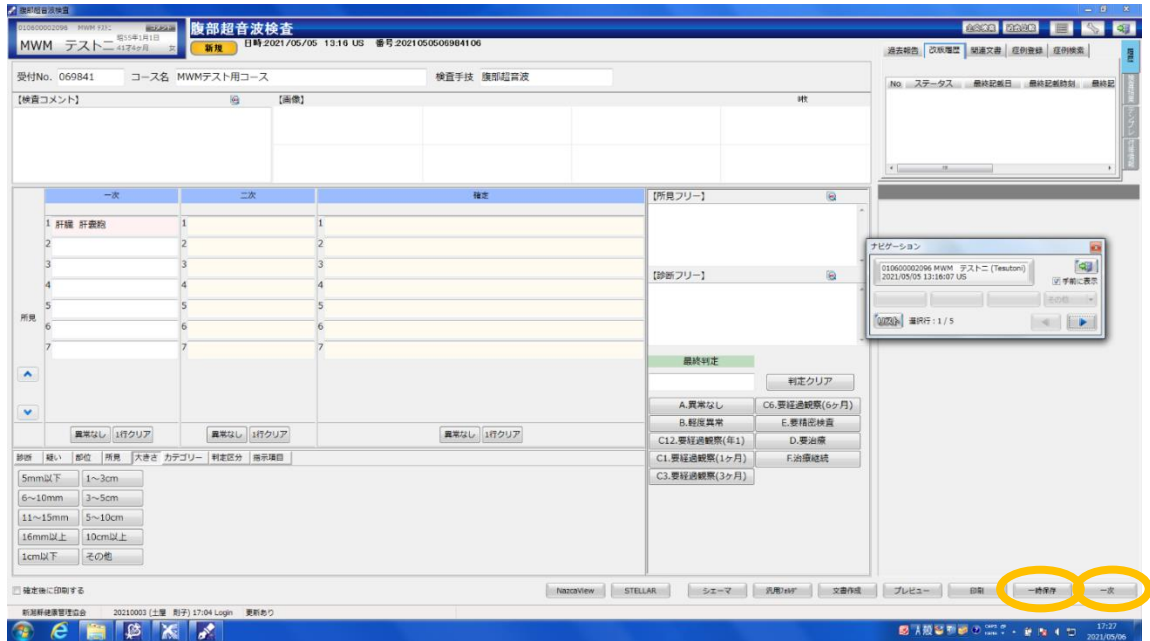
複数選択し、『レポート貼付』もしくはキーボードのAでまとめて貼り付けられる。

所見がある場合のみレポートに張り付ける、異常無の場合は不要です。

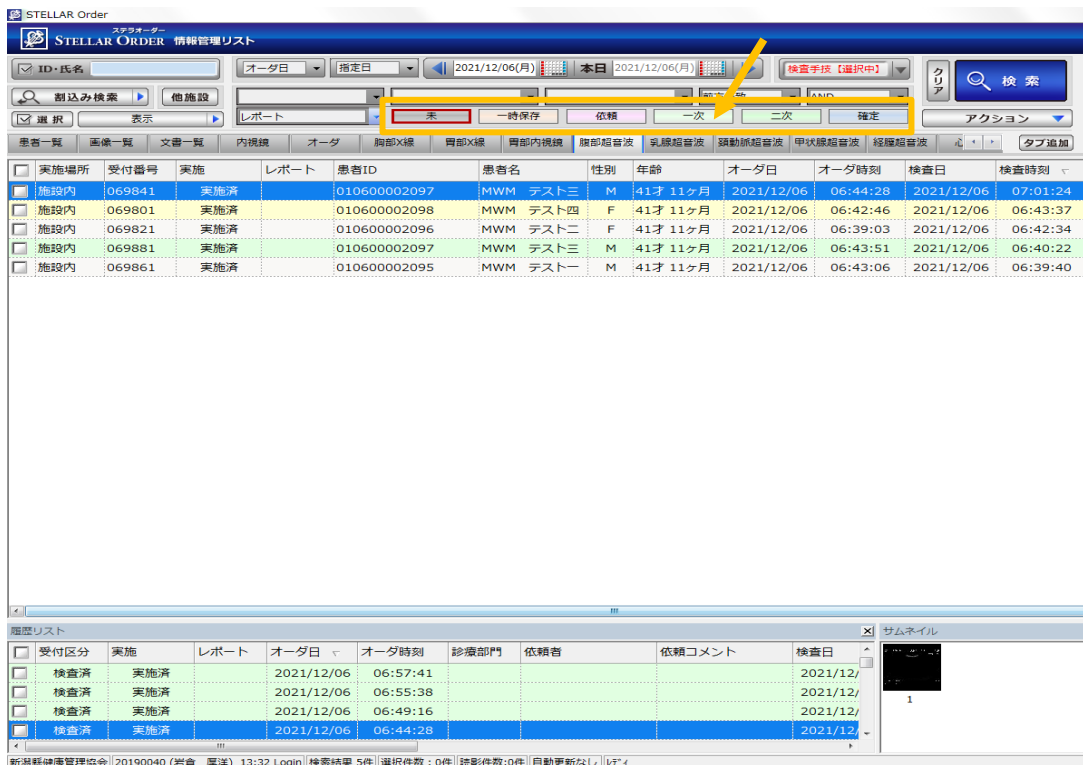
確定は一次

報告書未完了で次の受診者の検査を開始する場合は一次保存を押してから(7)の操作を行うこと！

(16)所見の入力とレポートの貼り付けが終わり、レポートを確定する場合は画面右下の「一次」で確定。レポート入力を中断し、一時保存する場合は「一時保存」でレポートを閉じる。一時保存または一次で確定したレポートを再度修正して確定する場合はもう一度「一次」で確定。



(17)レポートがすべて書き終わっているかの確認はレポートステータスが「一次」だけを表示するようにすれば確認できます。



脂肪肝の場合は1枚で肝腎コントラストを撮影し画像貼り付けを行ってください。

〈当施設の基本画像〉

①肝臓



②胆嚢



③腎臓



④脾臓、肝エッジ



⑤脾頭部、鉤部



⑥脾体部、尾部



⑦右側臥位 脾尾部



〈画像記録上の注意点〉

- 所見がある場合 他方向から観察 記録は二方向で行う
- 計測値はすべて mm 単位で記入、小数点第1位は四捨五入する。
- 1つの所見が数個ある場合、3個以上を多数とし、測定値は max 値のみ所見欄に記入。
- 所見はスケールを入れるとわかりにくいのでスケールを外した画像も記録する。



これ、大事！！ ~ 9 ~